

第135回九州地方知事会議政策協議事項（政策連合）

幹事県名 福岡県

（政策連合名）水産高校実習船の連携

1. 連携（研究）に取り組む背景、目的（期待される効果）、内容

- ①水産高校の実習船は、各県がそれぞれ保有し、各水産高校の教育目標に沿って、単独運航で乗船実習を行っている。
- ②現実の問題として代船建造の時期を迎えている県があり、また、多様化する水産教育の充実や財政上の面から実習船の効率的な運航を目指すために、県域を越えて連携する共同運航について具体的に検討を進めている。

2. これまでの取組と成果

- ①第124回知事会（H16年10月）取組提言
政策連合による取組を開始。
- ②第125回知事会（H17年6月）協議結果
水産高校実習船の連携については、民間委託による全県での共同運航を目指して研究を進める。
- ③第126回知事会（H17年10月）検討状況報告
各県が目指す水産教育の内容を重視し、学校との共通理解のもと引き続き課題の検討及び整理を行い、共同運航を目指す。
- ④第127回知事会（H18年6月）協議結果
民間委託による全県での共同運航を目指して研究を進めているが、解決すべき様々な問題があり、全県での共同運航を目指した段階的取組として、福岡県と長崎県における共同運航を目指して具体的に検討を進めていく。
- ⑤第129回知事会（H19年5月）協議結果
全県での共同運航については、各県の代船建造時期等を考慮しながら引き続き検討していく。
福岡・長崎の2県に山口県を加え、H22年度共同運航を目指して引き続き具体的な検討を進めていく。

福岡・長崎両県において、6月に学校間交流活動、11月に乗船交流実習を実施する。

⑥第130回知事会（H19年10月）協議（報告）結果

福岡・長崎・山口3県における共同運航実習船の建造・管理運営のあり方などの基本的事項について確認し、H22年度共同運航を目指して、引き続き具体的な検討を進めていく。

⑦第134回知事会（H21年10月）報告

福岡・長崎・山口3県におけるH22年度からの共同運航に向けた具体的な検討状況を報告。

3. 今回協議（報告）内容・新たな成果

(1) 福岡・長崎・山口3県での共同運航を開始。

3県は、地方自治法第252条の14の規定に基づき、水産高校実習船の共同運航に係る管理・執行を福岡県に委託することについて、事務の委託に関する規約を制定した。（平成22年2月議会で議決）

(2) 実習船の完成

- ・平成22年3月30日に建造工事が完了し、引渡しを受けた。
（各県持分3分の1ずつ財産登記）
- ・平成22年4月10日に文部科学大臣、3県知事等が出席し、福岡国際会議場で竣工式を開催した。

4. 今後の取組方針・今後の検討課題・スケジュール

水産高校実習船の連携については、平成22年4月からの福岡・長崎・山口3県における共同運航の開始により所期の目的は達成した。

今後も、より効率的で効果的な実習船の運営について検討を行い、定期的に九州地方知事会に報告する。